

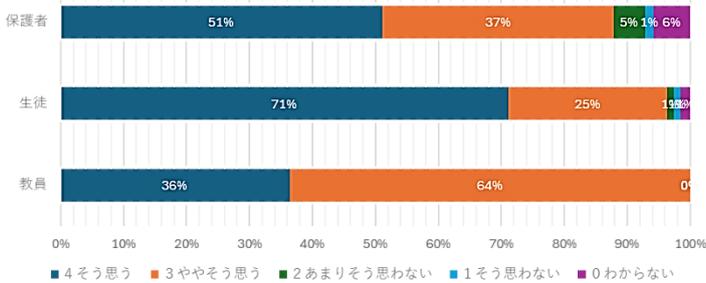
令和7年度 学校評価アンケート

令和8年2月

練馬区立練馬東中学校

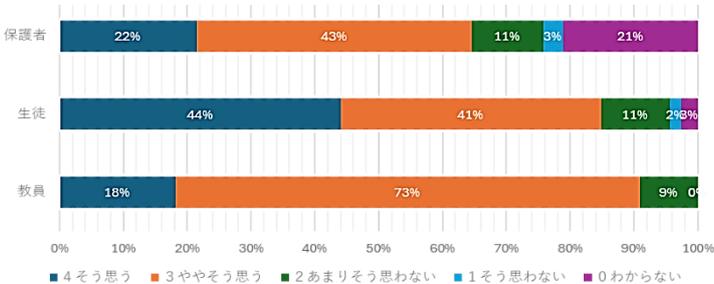
学校評価アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。皆さまからいただいたご意見をもとに、学校生活や教育活動の充実に向けて、教職員一同さらに努力してまいります。アンケート結果をまとめてお知らせします。

(1) 学校は、明るく雰囲気良く、子供たちは楽しそうに過ごしている



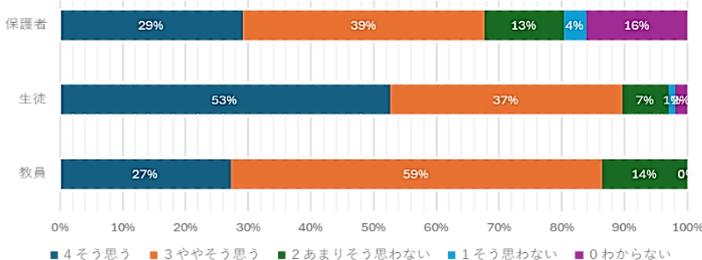
学校では日常生活の中で生徒が安心して過ごせるよう環境を整えており、生徒は活動に集中して取り組んでいる。肯定的な回答は保護者 88%、生徒 96%、教員 100% である。保護者の 6% が「わからない」と回答しているため、日々の活動や生徒の様子を家庭により具体的に伝える工夫を進める。

(2) 学校は、子供たちの興味・関心を引き出す授業を行っている



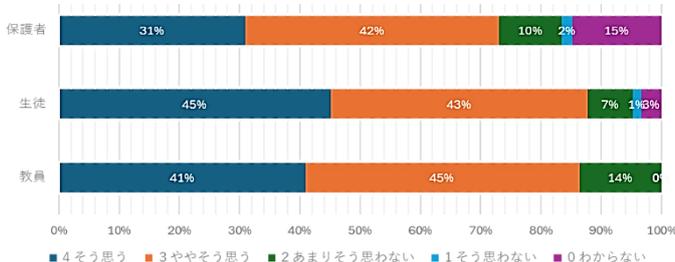
授業では、生徒の関心を引く教材や活動を取り入れ、学習意欲を高める工夫をしている。肯定的な回答は保護者 65%、生徒 85%、教員 91% である。保護者に授業のねらいや取り組みを分かりやすく伝えることが、家庭での学習支援につながると考える。

(3) 学校は、ICT機器やタブレットなどを活用した授業を行っている



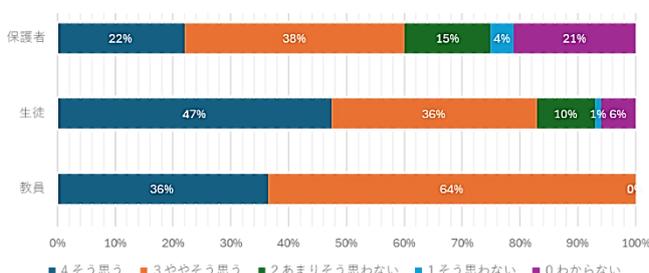
教員は ICT を活用して授業を設計し、生徒はタブレットを使って自ら課題に取り組んでいる。肯定的な回答は保護者 68%、生徒 90%、教員 86% である。保護者の理解を深めるため、ICT 活用の目的や授業での使い方を家庭に伝える必要がある。

(4) 学校は、体験的活動を取り入れ、考える力や表現する力を高める授業を行っている



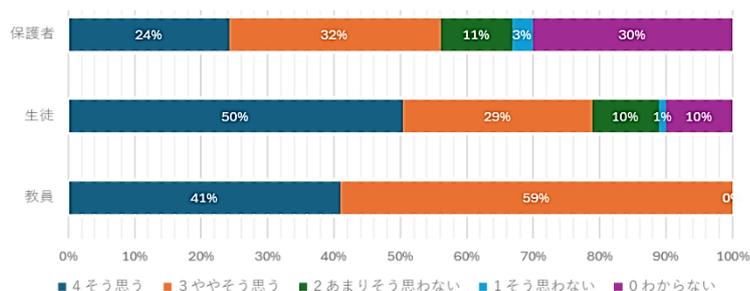
体験活動を通して生徒は自ら考え、表現する力を伸ばしている。教員は活動の計画やその内容に配慮して指導している。肯定的な回答は保護者 73%、生徒 88%、教員 86% であり、家庭への活動内容の伝達をさらに強化する。

(5) 学校は、子供たちの進路や職業学習などについて、指導している



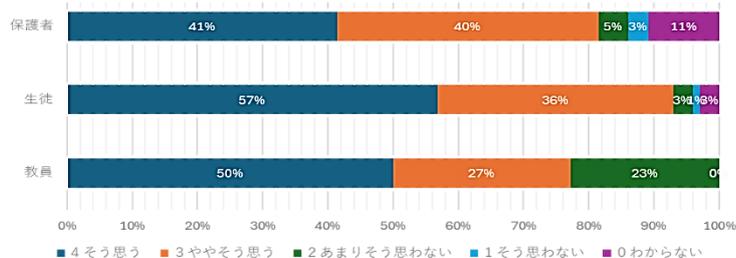
進路指導では、生徒一人ひとりが将来を考え、自ら学ぶ姿勢をもつよう支援している。肯定的な回答は保護者 60%、生徒 83%、教員 100% である。保護者の理解を高めるため、進路指導の計画や内容を家庭に明示することが重要だと考える。

(6) 学校は、授業中や放課後などに、子供たちの質問に答えようとしている



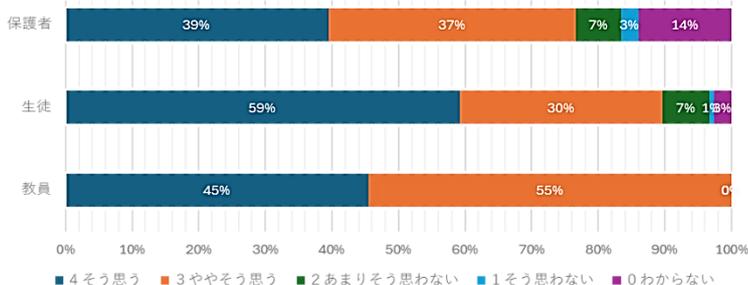
生徒の疑問に対して教員はその都度対応し、理解を深める支援を行っている。肯定的な回答は保護者 56%、生徒 79%、教員 100% である。保護者に質問対応の体制や取り組みを伝えることで、家庭でも学習支援がしやすくなると考える。

(7) 学校は、きまりや社会のルールを守るなど、子供たちの規範意識の向上に努めている



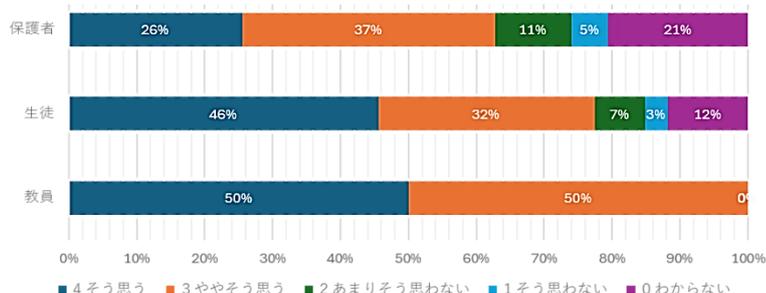
日常生活で生徒はルールを守ることを意識し、教員は統一した指導方針で指導を行っている。肯定的な回答は保護者 81%、生徒 93%、教員 77% である。指導方法や内容のさらなる検討を行い、規範意識の定着を促す必要がある。

(8) 学校は、道徳の授業などを通して、いじめ防止、人権尊重や生命尊重の向上に努めている



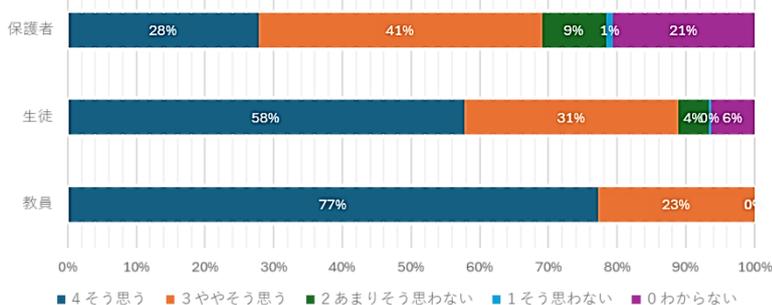
道徳の授業や生活指導を通じて、生徒は人権や生命の尊重を理解し、日常生活で実践している。肯定的な回答は保護者 76%、生徒 89%、教員 100% であり、家庭にも授業や取組内容を明確に伝えることで、指導の一貫性を保つことが求められる。

(9) 学校は、子供の不安や悩みの相談などに応え、家庭とも連絡を取っている



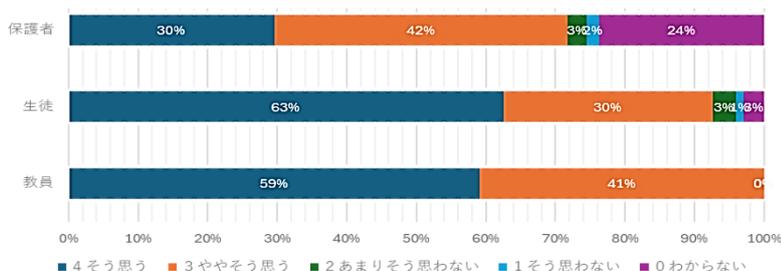
教員は相談体制を整備し、生徒の不安や悩みに個別対応を行うとともに、家庭と連携して支援している。肯定的な回答は保護者 63%、生徒 78%、教員 100% である。家庭に取組や体制をきめ細かに伝え、安心して学習できる環境をさらに整える。

(10) 学校は、衛生面や感染防止など、健康管理や保健指導を行っている



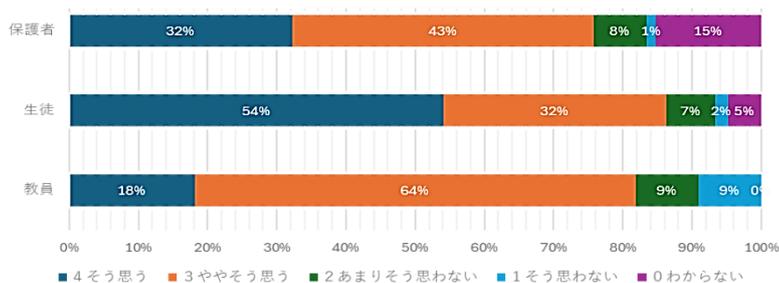
教員は日常の衛生管理や健康指導を行い、生徒は指導内容を実践して健康を維持している。肯定的な回答は保護者 69%、生徒 89%、教員 100% である。家庭にも健康管理や感染防止の取組を周知することで、学校と家庭が一体となった支援を進める。

(11) 学校は、事故や危険回避の対応を指導し、災害時等での防災意識を高めている



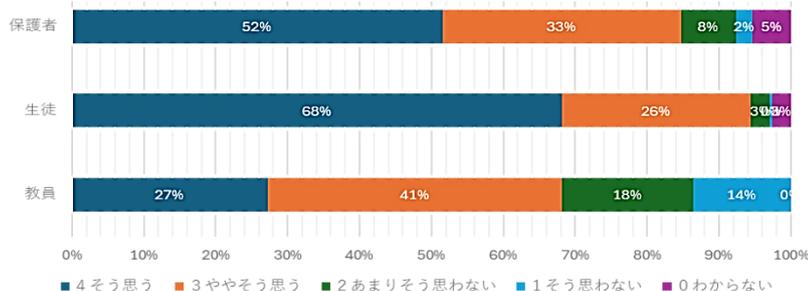
日常の安全教育や防災訓練を通じて、生徒は危険回避の方法を理解し実践している。教員は計画的に指導し、防災意識の定着に努めている。肯定的な回答は保護者 72%、生徒 93%、教員 100% であり、家庭に訓練内容や指導方針を共有することで、安全教育の効果をさらに高めたい。

(12) 学校は、施設・設備の整備、美化に努めている



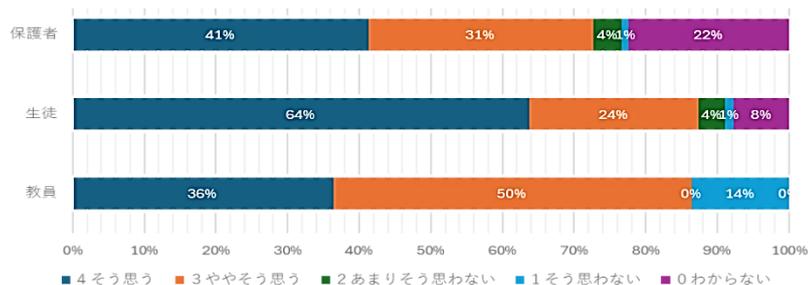
教員は施設や設備の管理を行い、学校環境の整備に取り組んでいる。生徒は清掃や美化活動に参加し、快適な学習環境を整えている。肯定的な回答は保護者 75%、生徒 86%、教員 82%。家庭にも環境整備の取り組みを伝え、協力を得ることで、活動をさらに充実させる。

(13) 学校行事（体育祭・合唱コンクールなど）は、子供たちの主体性を育み、充実している



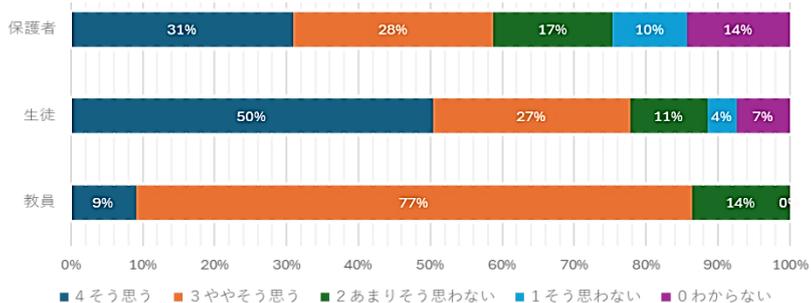
行事運営では、生徒が役割をもって企画や準備に参加し、教員は支援と指導を行っている。肯定的な回答は保護者 85%、生徒 94%、教員 68% となっており、教員間で意見の差もあるため、行事の計画や進行方法を改善し、全体で充実した活動を進める。

(14) 学校の生徒会や委員会活動は、子供たちが主体となって行われている



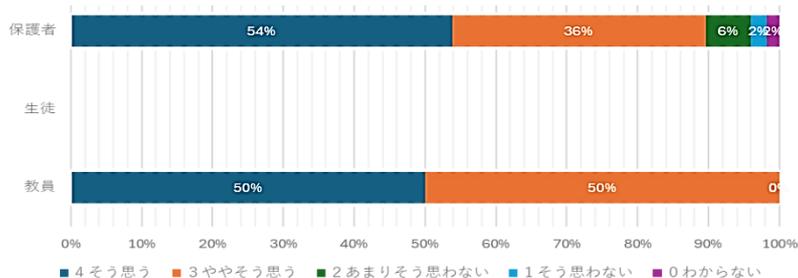
生徒は自らの役割をもって活動を計画・運営し、教員は必要に応じて支援を行っている。肯定的な回答は保護者 72%、生徒 88%、教員 86% である。家庭への活動内容の説明を工夫し、生徒が自信をもって活動できる環境を整える。

(15) 学校の部活動は、子供にとって意欲的に取り組める活動となっている



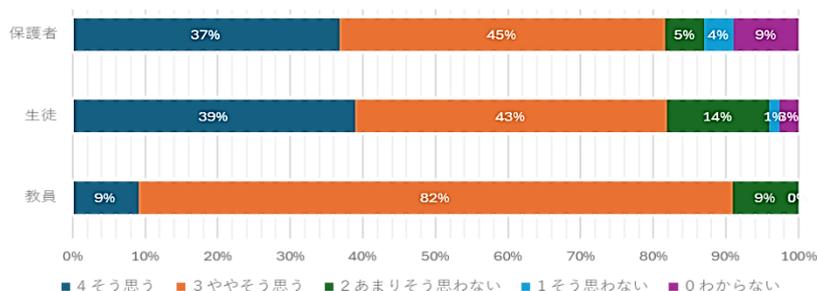
教員は部活動の指導にあたり、生徒は目標を設定して練習や活動に取り組む。肯定的な回答は保護者 59%、生徒 77%、教員 86% となっており、保護者や教員間で理解の差があるため、活動内容や指導方針を明確化し、より意欲的に参加できる体制を作る。

(16) 学校の教職員は、保護者に対して、丁寧に接している



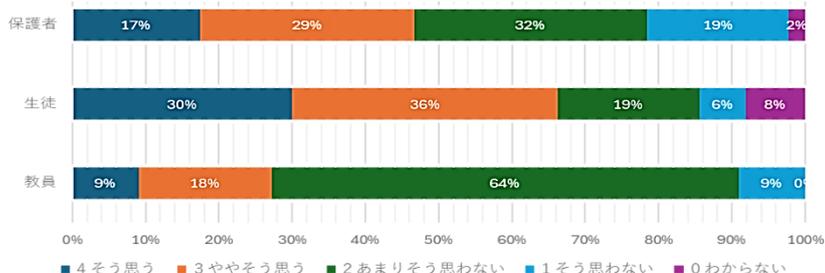
教職員は家庭と積極的に連絡を取り、保護者に必要な情報を丁寧に伝えるよう努めている。肯定的な回答は保護者 90%、教員 100% と高水準だが、家庭の疑問や要望に適切に対応し、協力関係をさらに深めることが重要だと考える。

(17) 子供たちは、学校における集団生活のルールやまわりを守っている



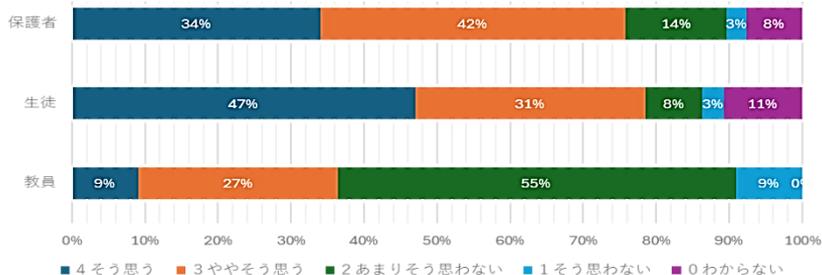
日常生活の中で生徒はルールを守り、教員は指導と助言を通して、日々の生活を送るように努めている。肯定的な回答は保護者 82%、生徒 82%、教員 91% と全体的に高い水準である。家庭と学校で連携し、集団生活におけるルールのあり方をさらに強化していきたい。

(18) 子供は、予習・復習などの家庭学習に取り組んでいる



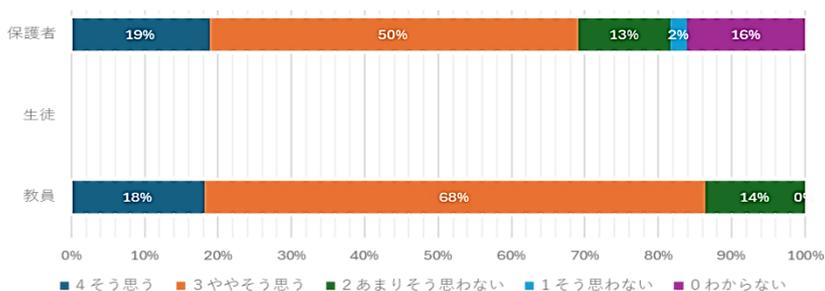
教員は家庭学習の習慣化や方法を指導し、生徒は計画的に学習に取り組めるように働きかけている。肯定的な回答は保護者 46%、生徒 66%、教員 27% であり、比較的低いものとなっている。計画的な学習の重要性を生徒たちにわかりやすく伝え、家庭とも連携して、家庭学習に充実に努める。

(19) 家庭では、子供に SNS に関するルールを守らせている



肯定的な回答は保護者 76%、生徒 78%、教員 36% であり、家庭が SNS 利用に関するルールを設定して指導していることがわかり、生徒は家庭の指導に従って利用しているとわかる。学校は必要に応じて助言を行い、家庭と連携してルールの定着を支援する。

(20) 保護者は、全体的に学校の教育活動に協力的である



肯定的な回答は保護者 69%、教員 86% となっており、家庭は学校行事や学習活動への参加を通じて、教育活動に協力的であることがわかる。学校は家庭との情報共有や参加機会を増やし、協力関係をさらに広げる取組を進める。